

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会 令和6年度臨時総会

2024年12月16日、標記総会がオンライン(Zoom)で開催され、全国の臨床検査技師養成校から教育関係者らが出席した。会次第を表に示すとともに、会の概要を以下に示す。

日本臨床検査学教育学会学術大会

第18回大会は2024年8月23、24日に新潟大(新潟市)で開催され、参加人数は408名(日本臨床検査学教育協議会加盟校教員:240名、学生・大学院生:77名、日本臨床衛生検査技師会会員:8名、招待登壇者:10名、協賛団体参加者:65名、その他の参加者:8名)となったことが、富山智香子氏(新潟大)から報告された。

今回の第19回大会は、2025年8月21、22日に岡大(岡山市)で開催され、大会長を廣畑聡氏(岡大)が務める。大会テーマ「臨床検査の未来に灯火を―挑戦する若手活躍の場―」のもと、基調講演「頼りになる臨床検査技師を育てる卒前・卒後教育(仮)」、シンポジウム「若手教員の活躍する場:教育と研究(仮)」などのプログラムが予定されている。

また、以降の大会開催および大会長は、第20回(2026年8月27、28日)は勝田仁氏(九大)、第21回(2027年)は石井直仁氏(北里大)の予定である。

臨地実習指導者講習会

講習会修了者は2024年12月16日時点で2,000名以上に達しており、今後は2025年2月24日、3月2日、4月6日に開催予定である旨が報告された。

講習会の申し込みは開催予定日の2カ月前から可能である旨が強調され、申し込み開始日の翌日には満員になる場合もあるため、可能な限り早く申し込むよう呼びかけられた。

表 会次第

1. 報告事項
 - (1) 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会報告
 - (2) 臨地実習指導者講習会
 - (3) 教育内容5年毎見直しに向けた事前調査
 - (4) タスク・シフト/シェアに関する動画教材
 - (5) 永年精励賞
 - (6) 委員会及び部会
 - (7) 国家試験問題検討委員会
 - (8) 役員選考委員会
 - (9) 関東・中部・甲信越部会の区分
 - (10) 令和7年度定時総会日程
 - (11) その他
2. 議長・議事録署名人選出
3. 議案審議
 - (1) 第一号議案 日本臨床検査振興協議会
 - (2) 第二号議案 令和7-8年度 理事・監事
 - (3) 第三号議案 令和7-8年度 理事長選挙結果
 - (4) その他
4. 議長解任

教育内容の5年ごとの見直しに向けた事前調査

調査の結果は会員校宛のメール、および日本臨床検査学教育協議会ホームページ内の会員校専用ページで報告済みであり、この結果内容をもとに、日本臨床衛生検査技師会(日臨技)と本協議会の理事とでワーキンググループ(WG)を設け、WG1で臨地実習、WG2で学内教育について意見交換中であると報告された。

新制度の内容から大きな変更の要望はないが、現状に合わせ、学生が実施すべき行為や見学のみにするべき行為について、微修正を要望したいとの意見が出ている。具体的には、肺機能検査におけるスパイロメータ使用時に、呼吸の指示を与える際に学生の不手際でやり直しとなった場合は患者の負担が大きい。そのため、たとえば患者がマウスピースをくわえるまでの工程を学生に実習させる、などの修正を検討している。